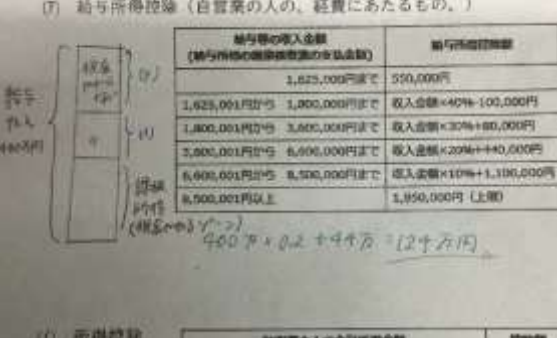
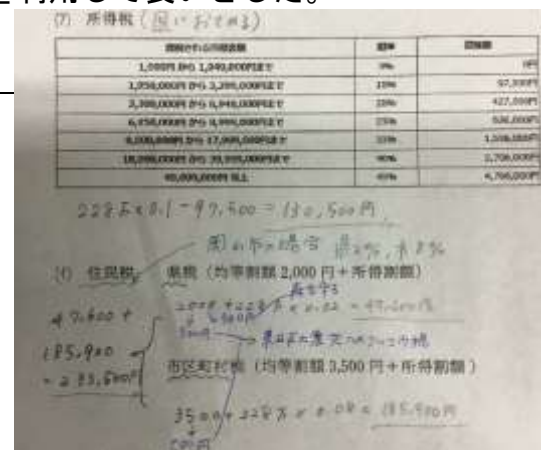
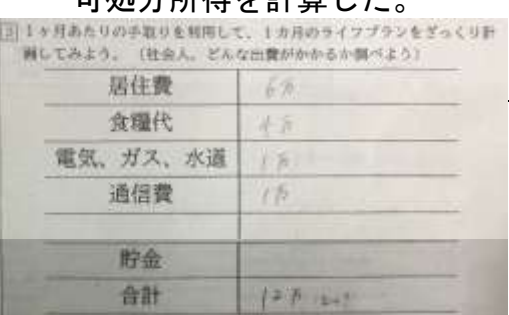


(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校														
実践者等	福田 裕也	実践日	令和3年11月16日												
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学科 数学活用														
対象生徒 (学年等)	3年生														
単元名 (教科・科目の場合のみ)	社会生活と数学 第2節 経済と数学														
使用したアプリ等	Google Spreadsheet 電卓アプリ インターネット検索														
実践の概要 (ねらい等)	ICT を利用した教科横断型授業。社会人となり、大きな金額の買い物や、クレジットカードの利用をすることを想定し、可処分所得の計算、ライフプランの設計を行う。														
実践の内容															
<p>(1) 給与所得控除 (自営業の人の、経費にあたるもの。)</p>  <p>(1) 可処分所得の計算の仕方を、給与収入 400 万円を例として紹介した。課税対象とならない所得の計算の仕方のうち、基本的なものをプリントで紹介し、多くある所得控除をインターネットで調べさせた。計算は ICT を利用して良いとした。</p>															
<p>(2) 所得税と住民税の計算をプリントで紹介し、実際に計算した。また、住民税の計算の仕方が自治体によって異なる事、均等割額の利用のされ方などをインターネットで調べさせた。その後、社会保険料の金額の概算を紹介し、可処分所得を計算した。</p>  <p>(2) 住民税 市税 (均等割額 2,000 円 + 所得割額) 47,600 + 市町村税 (均等割額 3,500 円 + 所得割額) 23,600 = 71,200 円</p>															
<p>(3) 高校卒業後の初任給程度である 256 万円で給与収入を設定し、例にならって可処分所得を計算させた。また、1年間の可処分所得を基に1ヶ月あたりの可処分所得を求め、ライフプランの設計を行った。家賃や光熱費など、社会人に必要な出費はインターネットで調べさせた。最後に感想を記入させた。</p>  <p>1ヶ月あたりの手取りを利用して、1か月のライフプランをざっくり計算してみよう。(社会人。どんな出費がかかるか調べよう)</p> <table border="1"> <tr><td>居住費</td><td>6万</td></tr> <tr><td>食糧代</td><td>4万</td></tr> <tr><td>電気、ガス、水道</td><td>1万</td></tr> <tr><td>通信費</td><td>1万</td></tr> <tr><td>貯金</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>12万</td></tr> </table>				居住費	6万	食糧代	4万	電気、ガス、水道	1万	通信費	1万	貯金		合計	12万
居住費	6万														
食糧代	4万														
電気、ガス、水道	1万														
通信費	1万														
貯金															
合計	12万														
参考となる HP 等	https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/2260.htm https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000005458.html														

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)